

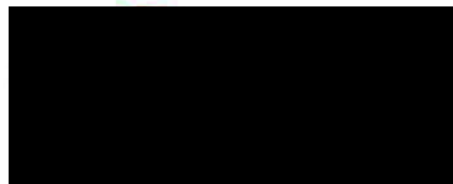


2024年11月20日

加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的助成制度を求める請願書

かすみがうら市議会議長 小座野 定信様

請願代表



他 307 名

紹介議員

矢口 龍人
佐藤 文雄
設楽 健天
鈴木 更司
塚本 直樹
井本 有史

《請願趣旨》

加齢性難聴は、40歳ごろから始まり、70歳代で3分の1、80歳代では3分の2の人がなると言われています。放置しておくと、コミュニケーションを困難にするなど、日常生活の質を落とす原因になります。また、社会参加を困難にし、「閉じこもり」や「寝たきり」を引き起こす原因ともなります。

加齢性難聴者が、早期に補聴器を装着することは、難聴者のためになるばかりでなく、高齢者の社会参加、認知症の予防、健康寿命の延伸、介護などの医療費の抑制など社会的利益にもつながります。

今年度になり県内では、土浦市をはじめ8市町村で補聴器購入補助制度の実施が始まっています。

かすみがうら市においても、加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的助成制度を創設することを求めます。

《請願事項》

かすみがうら市に加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的助成制度の創設を求めます